

○学びサポート企画部活動報告「先生のコバナシ～実は私こんなことをしているんです～」を開催しました

学びサポート企画部では、6月23～25日、6月29日、7月1～2日の6日間に、夕方4時30分から約30分間、徳島大学附属図書館1階ラーニング・commonsにて「先生のコバナシ～実は私こんなことをしているんです～」というイベントを開催しました。このイベントは、普段あまり知ることのない先生の研究内容について先生自身に簡潔に話をしてもらおうというもので、今回で3回目を迎えました。大学で行われている“研究”について、その内容、興味深いところ、先生の想いなどを知ること、大学における学習に対する動機づけに役立ててほしいと思い開催しました。

今回は、計6人の先生に話をしてもらいました。

- 1日目は塚本章宏先生の「古地図をたずねて8000km～GISサスペンス劇場～」、
- 2日目は日置善郎先生の「粒子と反粒子：不思議な素粒子の世界」、
- 3日目は岸江信介先生の「日本の方言を概観する～方言の東西対立ほか～」、
- 4日目は渡部稔先生の「カエルの万能細胞」、
- 5日目は三神厚先生の「地震の予知・予測と地震の揺れ」、
- 6日目は三隅友子先生の「多文化共生のまちづくり」です。

——初日 事前に広報を行った成果もあり、用意した座席数では足りないかと思うぐらい多くの方が見に来られました。私は広報のためのポスターを作成していたこともあり、広報の成果を実感できて本当にうれしかったです。塚本先生は、古地図についてだけではなく、所々可らしいネタを挟んでくださり、非常に面白かったです。また、戦時中、古地図などの資料がどのように扱われたのか、当時の資料流通の話を変えながら説明していただき、特に図書館職員の方たちが興味津々という様子でした。思った以上に盛況で、充実感に包まれたまま1日目のコバナシを無事終えることができました。



——2日目 日置先生は、粒子と反粒子についての話をしてくださいました。私自身、理系の学生なのでとても夢中になって話に聞き入ってしまいました。また、日置先生の意外な一面も垣間見られたので、少し得した気持ちになれました。



—3日目 岸江先生は、日本の方言について方言地図を用いて話をしてくださいました。自分の中では標準語だと思っていたものが方言だったりして、驚きの連続でした。特に、私の地元では「河童」は“かっぱ”と呼ばれていますが、これも地域によって呼称が異なると聞いた時には、まさに開いた口が塞がらないという状態でした。



—4日目 渡部先生は、白や黒、マダラ模様やピンクの色とりどりの元気なアメリカツメガエルを連れて登場されました。コバナシが始まる前から参加者は興味津々で泳ぎ回るカエルを見つめていました。お話は、万能細胞についてビデオや写真を使ってわかりやすく説明してください、アニマルキャップから形成された組織や器官、再生医療への応用などの研究についてご紹介いただきました。色とりどりのカエルもメラニン合成酵素遺伝子の編集で人工的にアルビノを作ったものだと知りました。



—5日目 三神先生は、地震の予知と予測についての話をしてくださいました。ここだけの話ですが、地震の予知と聞いたときに「もし、先生がナマズの話がされたらどうしよう」と思いました。実際はそんなこともなく、地震の観測の仕方や、観測データを基にした簡単な地震予測の方法を教えてくださいました。改めて、地震の恐ろしさを実感させられました。



——最終日 三隅先生は、音声映像を用いたり、参加者に簡単な質問を投げかけたりしながら、常に参加者の関心を引き付けつつ話をしてくださいました。このような点は私も真似てみようと思いました。何よりも、最近話題になっているヘイトスピーチについては改めて考えさせられました。異なる文化をもつ人々が交流するにはまだまだ課題が山積みようです。



イベントに参加して振り返ってみると…

特に大きなハプニングも起こることなく、無事にイベントを終えることができ、個人的には満足でした。また、参加者の合計人数が過去最高の102人を記録したので、客観的に見ても、成功したと言えます。今回は6人の様々な分野の先生方のご協力により、普段あまり知らない先生の研究内容について何うことができました。このイベントが研究へ興味・関心を抱ききっかけになると嬉しいです。イベントに参加してくださった人にアンケートを取らせていただきました。その結果を見ると、「普段の授業では聞けない話を聞くことができよかった」、「このイベントに参加して新しい発見が出来た」等、とても満足されている様子でした。他にもここには書ききれないほどのうれしいコメントが書かれていて、このイベントに携われて本当に良かったと思います。

最後に…

学びサポート企画部では、今後もこのようなイベントをどんどん開催していこうと考えています。また、その他にも学生の「学び」の手助けとなる活動を行っています。興味のある方は火曜日の夕方6時から学生会館2階のWAVE事務室でミーティングを行っているので気軽に訪れてみてくださいね(^ ^)。

徳島大学総合科学部総合理数学科1年
学びサポート企画部 下村宗央

[メールマガジン「すだち」第126号本文へ戻る](#)

本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します
